

これまでの浸水被害軽減対策の状況

※令和7年5月に開催した説明会資料を基に作成



令和元年東日本台風（台風第19号）再現計算



浸水深凡例	
	0.05～0.25m
	0.25～0.50m
	0.50～0.75m
	0.75～1.00m
	1.00～1.25m
	1.25～1.5m
	1.5m～

多摩川の河道掘削が完了した時点（令和7年度末想定）

- ・シミュレーションの計算条件（令和7年度末想定）
 - ①樋管の操作 目的：多摩川からの逆流を防止
 - ②逆流防止ゲート 目的：根川雨水幹線から根川第1雨水幹線への逆流防止
位置：根川第1雨水幹線流末
 - ③水位設定 国土交通省が公表している石原水位観測所付近の“現在工事中の河道掘削効果「約60cm水位低下」”と同等の効果が六郷排水樋管付近で得られたと想定し設定